

【感染防止策チェックリスト(岡山局版)】

1 Web方式、持ち回り開催等を検討する。

Web方式等としない理由

- 不特定の参加者でWeb方式を採用できない。
- 実技の指導を伴う。
- ワーク・ショップなど複数の小集団で意見交換を行う。
- 対面の意見交換、聴取等が必要
- その他の事情 ()

2 集合会議等を行う場合の措置

- 参加者(来庁者)の体温を来庁時(岡山第2合同庁舎を除く。)に検温する。
- 参加者(来庁者)に「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)のインストールを推奨する。(ポスター等の掲示を含む。)
- 参加人数は必要最小限に絞る。(特に事務局)
- 屋内にあっては収容定員の半分程度以内の参加人数にする。(待合場所等含む。)
- マスクを着用する。(待合場所等含む。)(マスクの予備を準備する。)
- 手洗いを推奨する。
- アルコール消毒液を設置する。
- 受付等について、人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する。
- 隣同士の間隔はできるかぎり2m(最低1m)空ける。(待合場所等含む。)**
- 近距離及び対面で話さない。近距離等で話す場合は、できるかぎりアクリル板などで遮蔽する。(待合場所等含む。)
- 大きな声を出さない。(マイクの使用)
- こまめに(1時間に2回程度)換気する。(待合場所、トイレ等含む。)
- 物品・機器等の複数人での共用は避ける。共用マイクは発言者に渡す前に消毒する。(待合場所等含む。)
- 複数人が触る箇所は消毒する。(待合場所、トイレ等含む。)
- 食事はしない。(待合場所等含む。)
- 発熱や風邪の症状、高齢者、基礎疾患のある者及び妊婦の方は参加を控えていただくようお願いする。
- 説明会・会議等の前後において、参加者同士の交流を極力控えるようお願いする。
- ゴミの回収・廃棄について、マスクや手袋を着用することとし、作業後は必ず石けんと流水で手洗いをする。
- 開催後に説明会等の参加者を特定できるようにする。